



特集 自然とともに生きる 防災

今月は「自然とともに生きる」と題して、防災について、考えてみたいと思います。風水害の季節を迎え、「私たちにできること」を皆さんも考えてみませんか。

私たちは、自然とともに生きています。自然は、多くの恵みをもたらす一方で、私たちの住む南島原市においても平成3年の雲仙普賢岳災害や台風17号、19号被害、昭和57年の大雨（長崎大水害）など、私たちの生活を脅かしてきました。

先日6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震をはじめ、最近では、中国・四川省大地震、ミャンマーでのサイクロンなど、近年は異常気象化、災害の大規模化が進んでいます。

災害が起こる前に
すべきこと
災害は、いったん起こってしまえば、できることは限られてしまいます。事前の十分な備えが、あなたの「命」を守ります。

非常時に対応できるよう話し合う
避難場所や通報先を確認しておきましょう
平素から、自治会などで避難場所や災害の起きやすい場所、一人暮らしの人の確認などを話し合う機会を設けましょう。話し合うことで一人ひとりが確認するよりも防災意識が高まるうえに、何かあったときの助け合いもスムーズになります。

突然、猛威を振るう自然災害。これらの自然災害から命や財産を守るためにも日ごろから防災対策をしておきましょう。

また、今月は南島原消防団長 石川昭三さんに消防団のあり方や、防災の心構えについてお聞きしたほか、深江地区団長の大山秀孝さんに噴火災害当時についてお聞きしました。なお、大山さんは、功績を認められ、先日藍綬褒章を受けられています。おめでとうございます。

便利で災害にも強い
携帯電話の活用方法
災害時の連絡に携帯電話が便利なのは、ご承知のとおりですが、ここではそのほかの活用方法をお知らせいたします。いずれもパソコンからもご覧いただけます。

※通信料がかかりますので携帯電話からは、契約内容等をご確認のうえご利用ください。

～市民の安全を守る～ 市内の危険箇所を点検

6月2日(月)、梅雨や台風災害に備え、市長は、防災関係機関と市内の危険箇所の現地視察を実施しました。危険箇所の再確認や、災害発生時の対応等を検討しました。

当日は、時折雨が強く降りましたが、市長は、担当部署から現場の状況の説明を受けると、消防署に意見を求めたり、その対応を具体的に指示しました。

視察したのは、赤松谷（深江）、東高潮海岸（布津）、身延急傾斜（有家）、水分急傾斜（西有家）、大手川（北有馬）、有馬干拓堤防（南有馬）、貝瀬地区（口之津）、権田地区（加津佐）



←雨の中、赤松谷の治山ダムを視察

水分地区急斜面→（西有家）

非常時の持ち出し品を整理しておきましょう。



- 懐中電灯(複数)
- 携帯ラジオ(予備電池も忘れずに)



- 水・食料(缶切り不要の缶詰やすぐに食べられるもの)



- 救急医薬品(風邪薬、胃腸薬、ばんそうこう、生理用品)



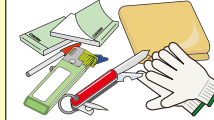
- タオル・ティッシュ(せっけん、ウエットティッシュ)



- 衣類(靴下、下着)



- 生活用品(シート、ビニール袋、軍手、ライター、ナイフ、筆記用具)



- 貴重品(現金、健康保険証、免許証、印かん)

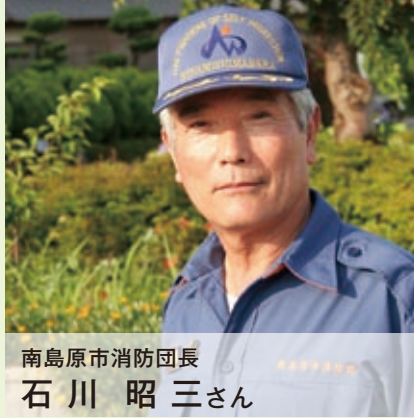


防災マップをご確認ください！

●昨年お配りした防災マップ。避難場所などいざというときの情報が満載。いつでも取り出せる場所に置いておきましょう。
※総務部総務課または各総合支所に予備を備えています。



自然とともに生きる 防災



南島原市消防団長 石川 昭三さん

「地域を守っている」という精神や自負は、何ものにも替えがたい、自分自身を大きく育ててくれるものです。こうした精神を次の世代につないでいきたいし、その努力を私たちはしなければならぬと思っています。

●市民の皆さんに何かあればお願いします。

私たちは消防団は、災害現場でやることは、できるだけやりますが、災害現場でやれることは、ごく限られています。ですから、まずは「自分のことは自分で守る」ように心がけてください。火事を出さないように日頃から気をつけることはもちろんですが、地震、風水害などの災害に対する備えをあらかじめしておくことが重要です。災害は、瞬時に全てを奪いますが、災害に対する備えは、たっぷり時間をかけてできます。

●組織が大きくなって何か変わりましたか？

現在、1,324人の消防団員の皆さんに現場出動してもらっています。一人ひとりに対する責任の重さは旧町のとおりですが、人数が多い分大きな責任を感じています。現場も含め、全体の責任は私にありますが、現場指揮の全権を旧町の団長である地区団長に任せています。日頃の訓練も含め、こうした旧町単位、分団単位には大きな変化

一日も早い復興を願って

6月11日(水)、市長と市議会議員は、長崎市の中国駐長崎総領事館で総領事に南島原市民からの中国・四川省大地震に対する義援金41万9,464円と市からの見舞金10万円を手渡し、「一日も早い復興を願っています。復旧活動される人も健康に注意してください」と市民の気持ちを代弁しました。ご協力をいただいた市民の皆さんありがとうございました。



中国・四川省大地震 岩手・宮城内陸地震 義援金募集

各総合支所で受け付けをしています



南島原市の携帯用ホームページ

避難場所や非常時の連絡先が掲載されています。ブックマーク（お気に入り）の登録をしておけば、非常時も安心です。
<http://www.city.minamishimabara.lg.jp/i>



長崎県の河川砂防情報システム(NAKSS)

県内各地の雨量や主要な河川水位をお知らせしています。携帯・パソコンから可。
携帯から <http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/i>
パソコンから <http://www.kasen-sabo.pref.nagasaki.jp/>



台風時の停電情報

<http://kyuden.jp>



中国・四川省大地震では、皆さんのご協力ありがとうございました。今回岩手・宮城内陸地震が発生し義援金を募集することになりました。引き続きのご協力をお願いします。